

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (1 1) 京丹後市立郷土資料館

京丹後市立郷土資料館 (京都府京丹後市網野町郷55)

地域の家々から日々失われゆく民具などの資料を収集し、衣食住に関するものや農具を中心に漁業・林業・織物業・古文書などを民俗資料を中心に約1,000点を展示している。

1. 京丹後市立郷土資料館の状況

施設の基本情報 元小学校の一部を施設に利用

- ◆ 博物館種別：指定施設申請中
- ◆ 公式HP：京丹後市の公式WEBサイト > 京丹後市立郷土資料館
- ◆ 開館時間：午前9時30分～正午（ただし、入館受付は午前11時30分まで）、午後1時～午後4時
- ◆ 休館日：火曜日・水曜日・金曜日・日曜日、年末年始
- ◆ 入館料：（個人）大人190円、小中学生90円、小学生未満無料
（団体：15人以上）大人120円、小中学生50円、小学生未満無料



▲京丹後市立郷土資料館外観

2. デジタルアーカイブの取組み (これまで)

公開状況

- ◆ 京丹後市の公式WEBサイト > 京丹後市立郷土資料館の収蔵品紹介にて一部紹介されている。
- ◆ 戦時中のチラシ画像と概要
[京丹後市立郷土資料館 収蔵品紹介 戦時中のチラシ / 京丹後市](#)
- ◆ 京丹後市立郷土資料館 収蔵品紹介 丹後大震災の記憶
[京丹後市立郷土資料館 収蔵品紹介 丹後大震災の記憶 / 京丹後市](#)

戦時中のチラシ	
郷土資料館では、戦時中に木津村で配布されていたチラシやパンフレットなどを保管しています。その一部を紹介します。	
戦時中のチラシ画像と概要	チラシの概要
	「防げ防空・用意はよいか」 木津村役場が発行した空襲時における対処法を記したもの。
	「出征遺家族慰安奨励会大プログラム」 木津村男女青年団主催で行われた出征遺家族慰安奨励会のプログラム。木津村以外にも出演している。
	「慰問袋を送りませう」 木津信用販賣購買利用組合発行。慰問袋に入れる商品の価格表。

▲戦時中のチラシ画像と概要



▲丹後大震災の記憶

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (1 1) 京丹後市立郷土資料館

3. 常設展示室

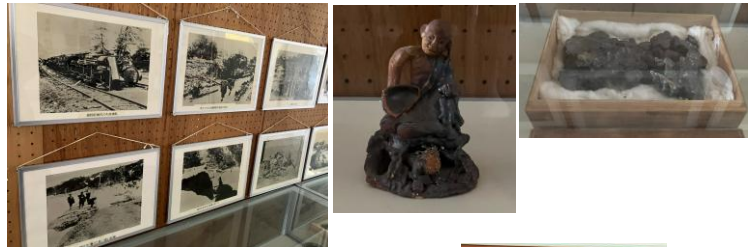
①養蚕と織物の部屋

京丹後地方では昭和20年ごろまで養蚕が行われていた。蚕を育てその繭から生糸を作り、機にかけられるまでを道具と共に展示。



③企画展示、丹後震災の記憶コーナー

震災写真や被災した仏像、焼銭などが展示。



④くらしの部屋1 (生活用具など)

昔ほどこの家にもあった懐かしい暮らしの道具を展示。

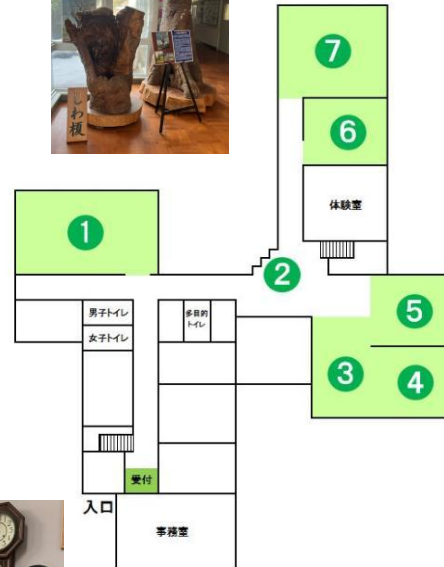


⑤くらしの部屋2 (仕事用具など)

漁業や商売モノ作りなどしごとの道具を展示。

②しわ榎

京丹後市網野町に伝わる浦島伝説に登場するしわ榎を展示。



⑥学びと遊びの部屋

明治から昭和にかけて小学校に使われてきた教科書や机の他、子供たちの遊び道具を展示。



⑦農具の部屋

機械化されるまで使われていた農耕具を中心に展示。



4. 所蔵資料の特長

衣食住に関する民具や農具を中心に漁業・林業・織物業・古文書など、民俗資料が多い。また、丹後震災に関する資料として、被災した時計や仏像、写真、記録文書なども所蔵されている。

民具・農具



被災物



写真



古文書



2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (12) 京丹後市立丹後古代の里資料館

3. 常設展示室

※展示室内の撮影が行えなかったため、京丹後市のHP及びパンフレットの内容を掲載しています。

<展示構成>

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 縄文人の生活 | 5. 丹後における古墳時代のはじまり |
| 2. 米つくりのはじまり | 6. 丹後王国の隆盛 |
| 3. 丹後王国の成立前夜 | 7. 丹後王国の衰退 |
| 4. 丹後王国の成立 | 8. 丹後王国の消滅 |
| | 9. 丹後国の誕生 |



京丹後市には、弥生時代の国内最大級の大型方形埴輪墓である赤坂今井墳墓、古墳時代の日本海側最大級の前方後円墳である網野鏡子山古墳、神明山古墳など数多くの遺跡が残されています。これらの遺跡は、古代のある時期、「丹後王国」とも呼べる強大な勢力があったことを物語っています。「丹後王国」の成立から消滅まで、時を越えたいにしえに思いをはせ何かを感じていただければ幸いです。

縄文時代

海山とともに生きる

今から約1万数千年前、人々の生活は移動生活から定住生活へと変化し、土器(縄文土器)を作りはじめました。

縄文時代は約1万年続き、当時の人々は海や川で魚や貝を、山や野で獣や木の実を採るという狩猟と採集を中心とした生活を営んでいました。



▲縄文土器(平造跡出土、市指定考古資料)



▲平造跡の地層(土層の剥ぎ取り)

弥生時代

稲作の始まり

今から約2千数百年前、人々は大陸からもたらされた稲作の技術により、農耕社会を発展させました。

弥生時代の丹後では当時大変貴重であった鉄製品が早くから使われていました。後期になると、鉄製品や青いガラスの首飾りをたくさん持っていた有力者とその家族の墳墓が作られました。



▲赤坂今井墳墓(国指定史跡)



▲当時貴重であった鉄製品(府指定考古資料、三坂神社墳墓群出土)



▲青いガラスの首飾り(左坂墳墓群出土)

古墳時代

古墳の出現

京丹後市に残された数多くの遺跡の中で、網野鏡子山古墳と神明山古墳(いずれも全長約200m)は日本海側最大級の前方後円墳であり、4世紀から5世紀にかけて丹後地域を支配した豪族の墓です。

古代丹後の有力者たちは、海上交易と深く関わっていたと考えられ、古墳を飾った円筒埴輪の中には、弓矢のほか舟が描かれたものがあります。



▲青銅三年銘方格規矩四神鏡(大田南5号墳出土、展示資料はレプリカ)



▲舟を描いた彫刻埴輪(神明山古墳出土、網野高校所蔵)



▲神明山古墳(国指定史跡)



▲丹後型円筒埴輪(網野鏡子山古墳出土)

丹後の国の伝説

京丹後市には数多くの伝説・伝承が残っています。

その中で鬼退治伝承は、用明天皇の皇子である麻呂子親王が薬師如来の加護を得て鬼を退治するというものです。

丹後には、麻呂子親王ゆかりの寺や仏像、絵巻物などが残っています。



▲薬師如来坐像(願興寺所蔵)



▲等米寺縁起(竹野神社所蔵、展示資料はレプリカ)



▲常明神縁起(竹野神社所蔵、展示資料はレプリカ)



▲網野鏡子山古墳(国指定史跡)



▲常設展示室内(1、2)

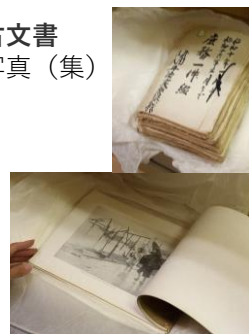


▲常設展示室内(6、7)

4. 所蔵資料の特長

主に「丹後王国」の成立から消滅、丹後国誕生までの歴史がわかる考古遺物を中心に所蔵。また、京丹後市内の所蔵庫が本館のみであるため、丹後震災に関する資料等、考古に限らず他多くの資料も所蔵されている。

古文書
写真(集)



巻物



2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (11)京丹後市立郷土資料館／(12)京丹後市立丹後古代の里資料館

現地調査：2025年11月11日（火）実施

※京丹後市立郷土資料館と京丹後市立丹後古代の里資料館は両施設同日に現地調査を実施。

◆参加者

・京丹後市教育委員会 文化財保存活用課 [] 氏

◆概要（撮影対象資料とご要望）

1. 対象資料について

・主に震災関連資料

資料の種類（一例）：

- 絵葉書・写真帳（震災被害や復興の様子）
- 稲葉家関連文書（寄付金・感謝状など）
- 小林善九郎関係資料（復興局勤務時代の広報誌に直筆サインあり）
- 丹後震災記念館関連書類（財団法人時代の記録）
- 掛け軸・図面類（長尺のものがあり、撮影方法検討必要）
- 京都府発行の震災報告書（昭和3年刊、詳細な被害・復興記録）

2. 撮影場所

- ・郷土資料館2Fの和室を資料保管場所・準備室とし隣接の部屋を写場とする。資料数も少なく、持ち運びが可能だと思われるため、丹後古代の里資料館の資料を郷土資料館へ移動し、実地研修と撮影を1か所で実施する。
- ・施設には暖房がないため、冬季の作業は要注意。

3. 普段の撮影と機材

- ・撮影は主に担当者が個人所有機材で行っている。
- ・カメラは個人所有の物を使用している。
- ・古い三脚と照明（LEDに交換）が丹後古代の里資料館にある。

4. 文化遺産オンライン登録

- ・京丹後市郷土資料館、丹後古代の里資料館ともに未登録。

5. 撮影対象資料の状況

- ・慰霊祭物品は用途や構成が不明なため、撮影時の配置検討が必要。
 - ・書籍は表紙と見開きページ一部を中心に撮影し、全ページ撮影しない代わりに他の資料撮影に時間を割く。
 - ・個人情報を含む資料は公開範囲を制限（表紙のみオンライン公開など）。
- ⇒当事業においてDNPが情報取得しないことを後日伝達。

6. 撮影課題・検討事項

- ・大型資料の撮影方法（平置き・吊り下げなど）。
- ・アクリル板、ガラス板使用時の資料折れ部分の扱いの問題がある。

7. 実地研修と撮影の考え方

- ・実地研修は小、中型の資料を中心に実施し、大型資料はDNPで撮影する方針。
- ・撮影対象の優先順位を検討し、実地研修と撮影スケジュールをDNPにて作成。

●京丹後市立郷土資料館



▲現地調査打合せの様子
資料の保管場所



▲撮影場所の教室：元小学校施設



▲資料の確認：絵画



▲対象資料の確認：丹後震災時の写真

●京丹後市立丹後古代の里資料館



▲現地調査打合せの様子



▲対象資料の確認：丹後震災時の写真

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (11)京丹後市立郷土資料館／(12)京丹後市立丹後古代の里資料館

実地研修 (1日目)

機材の搬入から開始し、翌日行う予定の実地研修を前倒しで実施。
紙管組み立てからカメラ設置に至る写場作り、職員自身での簡易的な撮影体験まで実施。

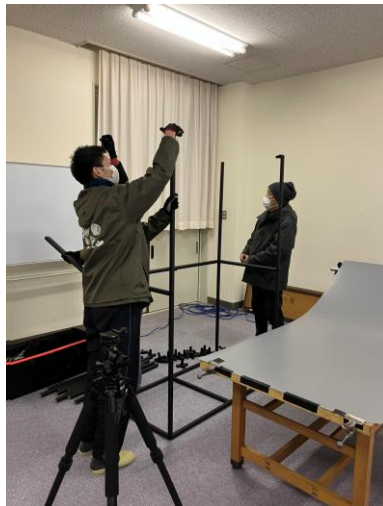
2月3日 火	Day 1	研修準備～研修日	分類	数量
12:50	集合			
13:00	開始	機材搬入		
13:20		事前確認 (撮影対象物の確認)		
13:45		機材 準備・調整		
14:15		組立研修		
14:45		撮影研修 (京丹後市郷土資料館資料)	立体・平面	7
17:00	終了・退出			
			日計	7



▲撮影対象物



▲撮影研修での画像確認画面



▲紙管組立研修
フレームの組立



▲紙管組立研修
デフューザーペーパーの取り付け



▲堀内氏による撮影研修の様子



▲撮影研修の様子

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (11)京丹後市立郷土資料館／(12)京丹後市立丹後古代の里資料館

実地研修 (2日目)

午前中は前日の撮影の続きとして、比較的小さな立体物から撮影を開始し、パネルに立てかけての水彩画等の絵画の撮影を実施。午後には絵巻物を(全長)2点撮影を行った後、座学の研修と丹後震災関連の文書を中心とした撮影を行った。

2月4日 水	Day 2	研修日	分類	数量
8:50	集合 開始	撮影準備	立体	10
9:00		撮影開始 (京丹後市郷土資料館資料)		
9:25		撮影機材変更	平面・平面(大)・ 平面(特大)	
10:50		撮影開始 (京丹後市郷土資料館資料)		
11:10		終了		
12:00	昼休憩			
13:00	再開	撮影準備	平面 (特大)	2
13:40	撮影開始 絵巻物 (丹後古代の里資料館資料)			
15:20		座学研修開始	平面	28
15:45		撮影再開 (京丹後市郷土資料館資料)		
17:00		終了・退出		
			日計	56



▲絵巻物の撮影



▲小さな対象物の撮影
(前日の続き)



▲絵画の撮影



▲座学研修の様子
持参された担当者カメラを使用した研修も実施



▲アクリル板で押さえながら
平面の撮影

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (11)京丹後市立郷土資料館／(12)京丹後市立丹後古代の里資料館

撮影 (3日目)

4日間で2施設分の合計100点以上の対象物の撮影を目指すため、照明やカメラ位置を変更せずに撮影が可能な平面の対象物をDNPスタッフが優先的に撮影。被災遺物として貴重なガラス面のある被災時計は、ライティングを工夫し映り込みを防ぐ撮影を行った。

2月5日 木	Day 3	撮影 1 日目	分類	数量
8:50	集合			
9:00	開始	撮影準備		
9:30		撮影開始 (丹後古代の里資料館資料)	平面	38
12:00	終了			
	昼休憩			
13:00	再開	撮影開始 (丹後古代の里資料館資料)	平面	9
14:00		レンズ交換		
14:10		撮影再開 (丹後古代の里資料館資料)	平面	15
15:00		撮影 (京丹後市郷土資料館資料)	平面	2
15:30	休憩			
16:00		撮影再開 (京丹後市郷土資料館資料)	立体	1
16:20		照明変更		
17:00	終了・退出	撮影終了		
			日計	65



▲丹後震災にて被災した時計



▲平面对象物の撮影



▲紙面の浮きを防ぐため
アクリル版で抑える



▲丹後震災にて被災した時計：ガラス面の映り込みを防ぐライティング (P.24も参照)



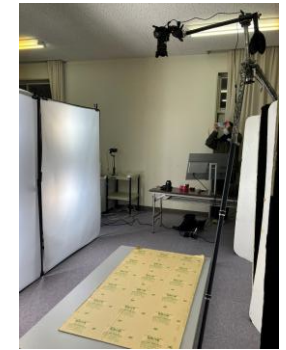
2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (11)京丹後市立郷土資料館／(12)京丹後市立丹後古代の里資料館

撮影 (4日目)

前日までにある程度の資料点数を撮影することができたため、セッティングに時間を要する大型対象物を撮影した。職員1名では運搬の難しい絵画を安全面に十分配慮をしながらスタッフと協力し配置、撮影。大型の絵巻物も小型のものと同様、撮影位置を移動しながら全長撮影した。

2月6日 金	Day4	撮影2日目	分類	数量
8:50	集合			
9:00	開始	撮影準備		
9:10		撮影開始 (京丹後市郷土資料館資料)	平面 (大)	4
		撮影 (丹後古代の里資料館資料)	平面(特大)	1
12:00	終了			
	昼休憩			
13:00	再開	撮影再開 (丹後古代の里資料館資料)	平面 (大)	1
14:30		撮影終了～機材 撤収		
15:00	終了・退出			
日計				6

大型対象物の▶
上部からの撮影は
ライトとレフ版数枚で
対象物を挟むように配置



▲大型の油絵の撮影



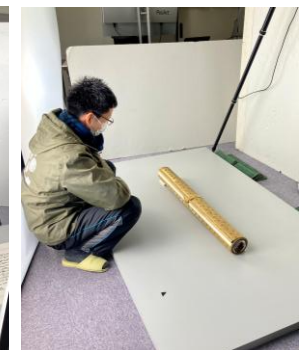
▲大型の油絵の撮影



▲大型の絵巻物の撮影
少しずつ撮影位置を変える



▲大型の絵巻物の撮影
掛算で固定



▲巻物を巻いた状態で
固定するため見えない位置に
小さなブロックを挟む

(11) 京丹後市立郷土資料館

撮影できた資料の数
: 68点 (113カット)

研修:
61点/1.5日

- 立体物 (17点)
- 絵画資料 (16点)
- 文書資料 (28点)

DNP撮影:
7点/2日

- 文書/写真資料 (2点)
- 立体物 (1点)
- 絵画資料 (4点)

(12) 京丹後市立丹後古代の里資料館

撮影できた資料の数
: 66点 (182カット)

研修:
2点/1日

- 巻物 (2点)

DNP撮影:
64点/2日

- 文書写真資料 (62点)
- 巻物 (2点)

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (11)京丹後市立郷土資料館／(12)京丹後市立丹後古代の里資料館

撮影環境（写場について）

- ・京丹後市立郷土資料館 2階の1教室を利用
- ・撮影に使用可能な机・椅子等あり
- ・カーテンあり（遮光ではない）

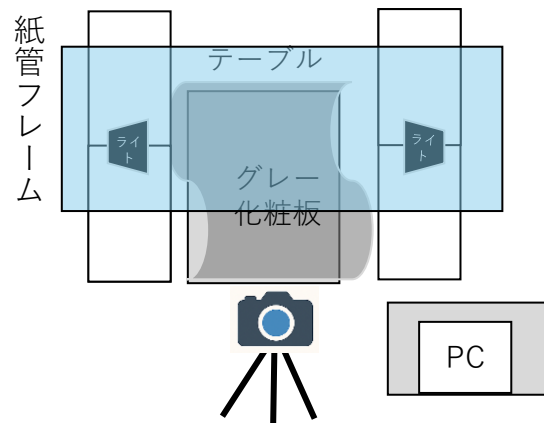


撮影前の教室▶

●パターン①：小型立体資料



被写体の真上にレフ版

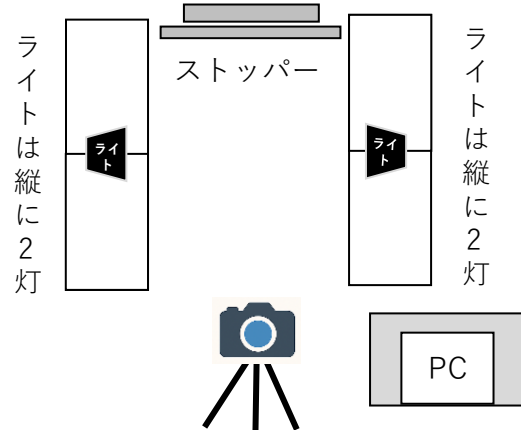


※カメラは斜め上から

●パターン②：平面大型資料

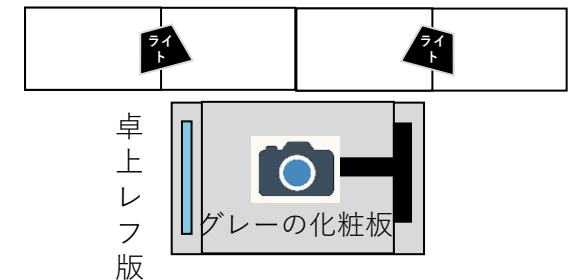


グレーの板もしくはバック紙



※カメラは斜め上から

●パターン③ 小型平面資料



※カメラは真上から

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (1 1) 京丹後市立郷土資料館

撮影リスト (1/2)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影順	作品名称 1	作品名称 2	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
1	慰霊祭物品		2月3日	研修で撮影	30×30×26cmほか	平面
2	焼銭		2月3日	研修で撮影	6×5×1.5cm	立体
3	15 焼銭		2月3日	研修で撮影	4×6×1cm	立体
4	12 焼銭		2月3日	研修で撮影	26×21×3cm	立体
5	16 焼銭		2月3日	研修で撮影	18×29×3cm箱サイズ	立体
6	焼銭		2月3日	研修で撮影	9×7×2cm	立体
7	炭化米		2月3日	研修で撮影	12×10×3cm	立体
8	10 ちりめん布		2月4日	研修で撮影	50×17×12cm	立体
9	被災刀		2月4日	研修で撮影	55×3×0.3cm	平面
10	被災刀		2月4日	研修で撮影	52×3×0.3cm	平面
11	恵比寿像	被災資料6	2月4日	研修で撮影	23×25×14cm	立体
12	仏像	被災資料7	2月4日	研修で撮影	9×11×14cm	立体
13	染付茶碗	被災資料4	2月4日	研修で撮影	11.5×11.5×5cm	立体
14	天目茶碗	被災資料3	2月4日	研修で撮影	9×9×7.5cm	立体
15	青磁香炉	被災資料5	2月4日	研修で撮影	13×12×10cm	立体
16	焼銭	被災資料14	2月4日	研修で撮影	23×31×8cm	立体
17	手提金庫	被災資料2	2月4日	研修で撮影	19×27×14cm	立体
18	水彩画1		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
19	水彩画2		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
20	水彩画3		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
21	水彩画4		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
22	水彩画5		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
23	水彩画6		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
24	水彩画7		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
25	水彩画8		2月4日	研修で撮影	67×52×4cm	平面 (大)
26	油彩画1		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
27	油彩画2		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
28	油彩画3		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
29	油彩画4		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
30	油彩画5		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
31	油彩画6		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
32	油彩画7		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
33	油彩画8		2月4日	研修で撮影	74×59×5cm	平面 (大)
34	木津村役場文書1	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
35	木津村役場文書2	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (1 1) 京丹後市立郷土資料館

撮影リスト (2/2)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影順	作品名称1	作品名称2	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
36	木津村役場文書3	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
37	木津村役場文書4	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
38	木津村役場文書5	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
39	木津村役場文書6	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
40	木津村役場文書7	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
41	木津村役場文書8	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
42	木津村役場文書9	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
43	木津村役場文書10	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
44	木津村役場文書11	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
45	木津村役場文書12	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
46	木津村役場文書13	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
47	木津村役場文書14	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
48	木津村役場文書15	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
49	木津村役場文書16	左記のうち震災関係分	2月4日	研修で撮影	29×20×6cmほか	平面
50	丹後震災関係論文等1	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
51	丹後震災関係論文等2	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
52	丹後震災関係論文等3	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
53	丹後震災関係論文等4	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
54	丹後震災関係論文等5	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
55	丹後震災関係論文等6	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
56	丹後震災関係論文等7	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
57	丹後震災関係論文等8	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
58	丹後震災関係論文等9	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
59	丹後震災関係論文等10	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
60	丹後震災関係論文等11	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
61	丹後震災関係論文等12	峰山図書館蔵書資料	2月4日	研修で撮影	27×19×0.3cmほか	平面
62	丹後震災関係論文等13	峰山図書館蔵書資料	2月5日	DNP	27×19×0.3cmほか	平面
63	北但馬地震絵葉書		2月5日	DNP	9×14×0.1cm	平面
64	焼柱時計	被災資料1	2月5日	DNP	33×33×15cm 収納木箱39×43×19cm	立体
65	井藤翠湖震災追憶油絵	「菅峠に於いて炊出しを受ける図」	2月6日	DNP	134×163×5cm	平面 (大)
66	井藤翠湖震災追憶油絵	「白銀町から杉谷を望む」	2月6日	DNP	100×124×5cm	平面 (大)
67	油彩画9		2月6日	DNP	74×59×5cm	平面 (大)
68	油彩画10		2月6日	DNP	74×59×5cm	平面 (大)

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (12) 京丹後市立丹後古代の里資料館

撮影リスト (1/2)

※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影順	作品名称	作品名称2	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
1	昭和六年峰山全図其の一		2月4日	撮影研修	不明×26×6.5cm (厚みは巻物状態)	平面 (特大)
2	昭和六年峰山全図其の二		2月4日	撮影研修	不明×26×6.5cm (厚みは巻物状態)	平面 (特大)
3	【追加】丹後地方震災画報	大阪朝日新聞社発行	2月5日	DNP	39×27×0.3cm	平面
4	丹後大震災火災写真画報	大阪朝日新聞社発行	2月5日	DNP	39×27×0.3cm	平面
5	但馬丹後大震災写真画報	大阪朝日新聞社発行	2月5日	DNP	39×27×0.3cm	平面
6	【追加】大震災写真画報	大阪朝日新聞社発行	2月5日	DNP	39×27×0.3cm	平面
7	昭和二年奥丹後震災遭難者名簿	箱	2月5日	DNP	27.5×20×8cm	平面
8	設立当初より昭和九年三月まで 庶務一件綴 財団法人丹後震災記念館		2月5日	DNP	28×20×6.5cm	平面
9	昭和十年一月より昭和十六年三月まで 庶務一件綴 財団法人丹後震災記念館		2月5日	DNP	28×22×12cm	平面
10	丹後震災記念館書類綴		2月5日	DNP	28×21×2.5cm	平面
11	小藤文次郎論文		2月5日	DNP	28×21×0.5cm	平面
12	丹後但馬震災画報	大阪毎日新聞社発行	2月5日	DNP	21×31×0.5cm	平面
13	小林善九郎関係資料第1号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
14	小林善九郎関係資料第2号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
15	小林善九郎関係資料第3号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
16	小林善九郎関係資料第4号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
17	小林善九郎関係資料第5号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
18	小林善九郎関係資料第6号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
19	小林善九郎関係資料第7号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
20	小林善九郎関係資料第8号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
21	小林善九郎関係資料第9号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
22	小林善九郎関係資料第10号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
23	小林善九郎関係資料第11号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
24	小林善九郎関係資料第12号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
25	小林善九郎関係資料第13号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
26	小林善九郎関係資料第14号	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
27	小林善九郎関係資料 給料1	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
28	小林善九郎関係資料 選挙人	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
29	小林善九郎関係資料 助役給料	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
30	小林善九郎関係資料 専任通知書	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (12) 京丹後市立丹後古代の里資料館

撮影リスト (2/2) ※対象施設から受領したリストを基に作成しています。

撮影順	作品名称	作品名称 2	撮影日	撮影主体	サイズ	サイズ判定
31	小林善九郎関係資料 復興局任命	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
32	小林善九郎関係資料 復興局休職	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
33	小林善九郎関係資料 復興局個人に対する通知	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
34	小林善九郎関係資料 異動通知	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
35	小林善九郎関係資料 異動通知(庶務課)	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
36	稲葉家文書 年次表	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
37	稲葉家文書 貸付資金状況	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
38	稲葉家文書 奥丹後震災復旧費貸付金利子に関する調べ	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
39	稲葉家文書 奥丹後資金に関する調	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
40	稲葉家文書 昭和7年7月23日 奥丹後震災復旧費貸付金利子に関する調べ	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
41	稲葉家文書 奥丹後震災復旧貸付金に関する調	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
42	稲葉家文書 褒章状	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
43	稲葉家文書 明治27年1月13日褒状	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
44	稲葉家文書 明治27年3月8日褒状	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
45	稲葉家文書 昭和5年1月祝辞	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
46	稲葉家文書 昭和5年3月祝辞	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
47	稲葉家文書 昭和2年7月1日所得税免除ノ件	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
48	稲葉家文書 明治24年11月14日書簡	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
49	稲葉家文書 安政3年7月26日書状	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
50	稲葉家文書 昭和5年2月葉書	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
51	稲葉家文書 1992葉書	左記のうち震災関係分	2月5日	DNP		平面
52	嗚呼悲惨極まる丹後大地震絵葉書	封筒	2月5日	DNP	15×10×0.1cm	平面
53	岡田吉之輔氏寄贈資料1		2月5日	DNP	15×21cm	平面
54	岡田吉之輔氏寄贈資料2		2月5日	DNP	15×21cm	平面
55	岡田吉之輔氏寄贈資料3		2月5日	DNP	15×21cm	平面
56	岡田吉之輔氏寄贈資料4		2月5日	DNP	15×21cm	平面
57	岡田吉之輔氏寄贈資料5		2月5日	DNP	15×21cm	平面
58	岡田吉之輔氏寄贈資料6		2月5日	DNP	15×21cm	平面
59	岡田吉之輔氏寄贈資料7		2月5日	DNP	15×21cm	平面
60	岡田吉之輔氏寄贈資料8		2月5日	DNP	15×21cm	平面
61	岡田吉之輔氏寄贈資料9		2月5日	DNP	15×21cm	平面
62	岡田吉之輔氏寄贈資料10		2月5日	DNP	15×21cm	平面
63	岡田吉之輔氏寄贈資料11		2月5日	DNP	15×21cm	平面
64	震災写真帳		2月5日	DNP		平面
65	丹後震災慰問歌掛軸		2月6日	DNP	191×58×3cm (厚みは巻物状態)	平面 (特大)
66	震災情景図	箱	2月6日	DNP	111×18.5×15cm	平面 (大)

2. 実地調査・実地研修・撮影の概要 (11)京丹後市立郷土資料館／(12)京丹後市立丹後古代の里資料館

施設ヒアリング：デジタルデータの活用イメージ・アイデア

- デジタル化の進展により、学校教育での資料活用が推進されている。児童・生徒が配布端末で学習する際には、高解像度画像の整備が求められている。
- 過去に実施した古墳体験学習（出前授業）は好評であった。今後は震災をテーマとした教育事業の展開を予定している。
- 来年度は震災百年事業に向け、各種資料の活用を計画している。これまでも京丹後市内の資料館や公民館等で企画展示を実施してきた。また、現在丹後震災記念館の耐震工事を行っており、工事完了後は震災関連資料を集約して展示する予定である。その際、今回撮影したデジタル資料の活用を想定している。
- 市内でも地域によって震災に対する意識に差があり、イベント参加率に偏りが見られる。他市町との連携は限定的で、専属学芸員体制がないこともあり、事業推進が難しい面がある。
- 現在の子ども世代は丹後震災を知らない場合が多く、関連授業も減少傾向にある。語り部も減っており、震災の記憶が風化することが課題となっている。
- 一方で、古墳や遺跡をテーマとした事業は、比較的連携が進みやすい分野である。

施設ヒアリング：課題

- 財政難により新規機材の購入は困難な状況である。消耗品は購入可能だが、カメラや照明機材の更新は補助金に依存している。
- デジタルアーカイブはほとんど未整備である。学芸員が必要に応じて撮影するほか、貸出や研究時に撮影された写真の提供を受ける程度にとどまっている。本来は推進したいが、時間・機材・予算のいずれも不足しており、着手する余裕がない。
- 個人所有のカメラはあるが十分活用できていない。一方で、職務用PCではPhotoshop CCを使用できる環境にある。
- 今回撮影対象としている文化財は教育委員会所管の資料であり、古代の里資料館の展示品（考古資料）というより、市内で唯一の収蔵施設として保管している資料を選定している。展示資料（考古）と収蔵資料（丹後震災関連資料）では性質が異なるが、文化遺産オンラインには当面、館所蔵品として登録する予定である。将来的には整理・見直しを検討したい。
- 行政組織は縦割りであり、教育委員会が観光分野等と連携して事業を行う機会は多くない。
- 民具は複数の廃校に分散保管している。資料数が非常に多く、一か所では収容できないためである。
- 震災遺品は、震災から数十年を経て寄贈される場合もある。家の世代交代に伴い蔵を整理する中で、廃棄か寄贈かの判断が行われ、役所へ持ち込まれるケースが多い。「震災遺品」と明記されていれば判断しやすいが、記載がない場合は貴重な資料であっても廃棄されている可能性がある。近年は寄贈件数も減少傾向にある。